

原料費調整制度に基づく2021年4月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2021年4月検針分の原料費調整単価を+4.9円/m³(税別)とさせていただきます。
(前月比+19.3円/m³(税別)調整させていただきます。)

これにより2021年4月の平均的なガス使用量(10m³/月)では2021年3月検針分のガス料金に比べて193円(税別)の値上げとなります。

●原料費調整内容(基準料金表)

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,650円(税別)	0m ³ から5m ³ まで	490円/m ³ (税別)	+4.9円/m³(税別)
	5m ³ をこえて20m ³ まで	440円/m ³ (税別)	
	20m ³ をこえて30m ³ まで	420円/m ³ (税別)	
	30m ³ をこえて40m ³ まで	380円/m ³ (税別)	
	40m ³ をこえる場合	340円/m ³ (税別)	

※アパート等賃貸住宅にて弊社負担の消費設備等をお客様に貸与している場合またはメンテナンス契約対象の消費設備をご利用いただいている場合、基本料金とは別に「設備使用料」850円(税別)計上させていただいております。

●平均的なガス使用量

月間ガス使用量	2021年3月ガス料金(税込)<A>	2021年4月ガス料金(税込)	前月比
10.0m ³	6,772円(税込)	6,984円(税込)	+212円(税込)

●原料価格など指標の推移

	12月	1月	2月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	450	550	605
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	335	452	
為替レート:TTS(円/ドル)	104.84	104.69	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	58.9	59.1	

●計算方法

基準原料価格 66,000円/トン

FOB価格 中東合成 CP $577.5 \text{ ドル} \times 70\%$ + 北米 MB $519.0 \text{ ドル} \times 30\%$ = 559.95 ドル
 中東合成 CP (1月 CP 550 ドル + 2月 CP 605 ドル) $\div 2 = 577.5 \text{ ドル}$
 北米 MB 1月 MB 452 ドル + 67 ドル (ターミナルフィー) = 519.0 ドル

フレート価格 (中東フレート $59.1 \text{ ドル} \times 70\%$) + (北米フレート $107.56 \text{ ドル} \times 30\%$) + 2 ドル = 75.60 ドル
 中東フレート (RIMフレート) 59.1 ドル
 北米フレート (RIMフレート) $59.1 \times 1.6 \text{ 倍} + 13 \text{ ドル}$ (パナマ運河通行料) = 107.56 ドル

円換算 1月1日～末日 TTS 平均 104.69円/ドル

LPG輸入価格 (FOB価格 559.95 + フレート価格 75.60) $\times 104.69 \text{ 円} = 66,535.7295 \rightarrow 66,500 \text{ 円/トン}$

当月原料価格 66,500円/トン + 石油石炭税 $1,860 \text{ 円/トン} = 68,360 \text{ 円/トン}$

原料費調整単価 (当月原料価格 $68,360 \text{ 円}$ - 基準原料価格 $66,000 \text{ 円}$) $\div 1,000 \div 0.482 = 4.896265 \dots$

2021年4月ガス料金の原料費調整単価は1m³あたり+4.9円(税別)です。(前月比+19.3円/m³)